

特活) 歯科医学教育国際支援機構・ニュースレター 2026年3月号

ラオス初の歯科衛生士学校で過疎地医療の実習が始まる

アジア地域で唯一歯科衛生士学校がなかったラオスで、日本の外務省と OISDE の協力でラオス初となる歯科衛生士が開校して二カ月、歯科衛生士教育の核となる過疎地医療実習が2026年2月20日に実施されました。対象はビエンチャン県の中央部の発電用ダム、ナムグムダムの広大な人造湖にあるバン・マイという人口600人程の小さな集落の小中学校です。ここの生徒は約百名。参加者は歯科衛生士学校の学生17名に加え、教育を担当する地元の歯科医師9名、それに我々のチームと総勢30数名。船で約1時間の船旅です。学校では小中学校生徒を対象に口腔衛生(主にブラッシング)を地元の歯科医師が歯科衛生士学生を教育指導する形で行われました。実に皆、一生懸命で、これからの若い国の活力が感じられ、OISDE がそれに参加できた意義を強く実感しました。



教育担当の地元の歯科医師が歯科衛生士学校の学生にきめ細かく口腔衛生指導のノウハウを教育



ナムグム湖にある人口600人ほどのバン・マイ村が今回の対象

OISDE の活動の参加者を募集しています。次回のラオスプロジェクトは2026年5月中旬から6月にかけて実施予定。

OISDE の活動の見学や視察、あるいは得意分野の講義、実習など先生方のプロジェクト

の参加者を募集しています。往復ベトナム航空(往路ホーチミン経由、復路ハノイ経由)で航空運賃15万円前後、宿泊費一泊1万円、食費その他一日3000円程度の経費が掛かります(プロジェクトに関わる経費はOISDE負担)。参加希望の方は4月中にメールにてお問い合わせください。

本部：東京都中野区沼袋1-44-2 連絡先：〒606-8104 京都市左京区高野竹屋町37-3
エースライフ洛北305 メール：oisdetokyo@gmail.com